

## 東日本大震災被災者の作品収集と文芸同人作家へのインタビュー調査 ——大手文芸誌の相対化を企図して

加島正浩 文学研究科人文学専攻 日本文学専攻 博士後期課程2年

本プロジェクトでは東日本大震災の被災県で刊行された文芸同人誌の刊行点数調査と、仙台の文芸同人誌である『仙台文学』代表の牛島富美二氏へのインタビュー調査を行った。調査結果は「東日本大震災以後の現代文学」をテーマとする博士論文の一部分である「当事者による表象研究」の基盤となる。ここでは大手文芸誌の表象を相対化する視座を示すとともに、同人誌が構築する書き手同士のネットワークの一端を明らかにすることを試みる。本報告では紙幅の制限があり踏みこんだ考察を行うことができないため、福島・岩手・宮城の三県で刊行された文芸同人誌の紹介に限定し、報告を行う。

**各県ならびに文芸同人誌の主な特徴** 今回の調査では福島県で39点、岩手県で55点、宮城県で51点と多くの文芸同人誌を確認し、各県での同人誌運動が活発であることを明らかにした。各県それぞれが大規模な文学賞や芸術祭を開催しており（「福島県文学賞」「仙台短編文学賞」、「宮城県芸術祭」「岩手芸術祭」など）運動を盛り立てている。特に岩手県は定期刊行物である『北の文学』など作品を公募する総合誌があり、独自に作家を育てる体制があることがうかがわれる。

中央の詩壇でも活躍する和合亮一が主宰する福島県の『ウルトラ』や、商業作家である佐伯一麦が仙台文学館で講師を務める講座の受講生による宮城県の『麦笛』などもあり、中央文壇と文芸同人誌の境目は確固たるものでないこともうかがわれた。

また東日本大震災以後に刊行された同人評論誌に福島県の『駱駝の瘤』があり、刊行以来東日本大震災に関する評論が寄せられ続けている。他にも福島県の俳句同人誌である『浜通り』が2011年以降は東日本大震災特集を現在に至るまで続けている。

**書き手同士のネットワーク** 鎌倉幸子『走れ！移動図書館——本でよりそう復興支援』（ちくまプリマー新書、2014年1月）は読書を媒介に被災後に人と人がつながる過程を報告しているが、書くことによって人はつながりうると考え、文芸同人誌の書き手同士のネットワークを調査するため『仙台文学』同人の牛島富美二氏にインタビュー調査を行った。牛島氏によると『仙台文学』のみならず宮城県にて活動を行う同人や宮城県芸術協会に所属する会員の高齢化によって、直接の交流というものはほとんどないとのことであった。しかし牛島氏が同人誌に掲載した作品が評価を受け、他の同人誌の執筆依頼が過去にあったという話もあり、対面での交流はなくとも同人誌上で他の同人との関係が新しく構築される例はあるようである。東日本大震災を契機にどのような文芸誌上での関係が新しく生まれたのか、引き続き調査してまいりたい。

**文芸同人誌刊行点数報告** 以下、今回の調査において、福島・岩手・宮城の三県で2011年3月以降に発刊が確認できた文芸同人誌を表にて報告する。原則として同人誌名と発行所を併記するが、発行所が特定できなかったものは同人誌名のみを記述する。

福島県

詩	福島県現代詩人会会報	福島県現代詩人会	俳句	會津	會津吟社		
	現代詩研究	現代詩研究会		短歌	福島県歌人会会報	福島県歌人会	
	会津詩人協会会報	会津詩人協会			青環	青環短歌会	
	卓	卓同人			水芭蕉	蓬萊短歌会	
	の	「の」同人会			弦	弦短歌会	
	山毛櫨	山毛櫨の会			きびたき	きびたき短歌会	
	北方	北方詩の会			あんだんて	南相馬短歌会あんだんて	
	a's				翔	翔の会	
	點晴	點晴の会			壘	高木佳子	
	ウルトラ	ウルトラの会			川柳	福島県川柳連盟会報	福島県川柳連盟
	熱気球	詩の会こおりやま				能因	川柳能因会
	かたくり	かたくり発行所		三日坊主		川柳三日坊主吟社	
	籬響栗			家		いわき番傘川柳会	
	関の森			矢吹文芸	矢吹ペンクラブ		
俳句	畷野	福島県現代俳句連盟	評論誌	駱駝の瘤	ゆきのした文庫		
	峰	峰俳句会	総合誌	あぶくま文学	日本民主主義文学会福島支部		
	蘭	蘭発行所		であい	近代文学であいの会		
	桔槔	桔槔吟社		福島自由人	北斗の会		
	浜通り	浜通り俳句協会		うえいぶ	いわき地域学會		
	はららご	はららご発行所					

岩手県

詩	逆行	逆行社	短歌	印象	印象短歌会	
	皿	岩手県詩人クラブ		かりん岩手	かりん・岩手の会	
	斜坑	斜坑社		こだま	こだま短歌会	
	白楊	花巻詩人クラブ		コスモス	コスモス岩手短歌会	
	舟	レアリテの会		北宴	北宴文学会	
	ベン・ベ・ロコ	北上詩の会		手	短歌手の会	
	CHaG	CHaGの会		遊	遊の会	
	クロッカス	G.クロッカス		ネガティブ	短歌結社ネガティブ	
	A We 部	A We 部の会		蒼雲	蒼雲短歌会	
	堅香子	堅香子の会		ひつつみ本	いわて故郷文芸部ひつつみ	
	十字路	十字路発行所		個性の杜		
	ラポール	ラポール編集室		川柳	岩手県川柳連盟だより	岩手県川柳連盟
	セスナ	セスナ舎			東北川柳連盟会報	東北川柳連盟
	辛夷	辛夷の会	北上		川柳北上吟社	
	自由		原生林		川柳原生林社	
	俳句	現代俳句いわて	岩手県現代俳句協会		紅樹	紅樹社
		あすなる	あすなる俳句会		紫波	いわて紫波川柳社
		草笛	草笛発行所		川柳人	川柳人社
		樹氷	樹氷発行所	はなまき	花巻川柳会	
北炎会		北炎会	北光	久慈川柳社		
山百合句会報		山百合俳句会	鉄道川柳	全国鉄道川柳人連盟盛岡事務局		
桐の花		岩手ホトトギス会	まつぞの	松園川柳会		
祭		祭発行所	総合誌	いわての文芸誌 天気図	ツーワンライフ	
山ゆり吟社会報		山ゆり吟社		北の文学	岩手日報社	
はづぎ		はづぎ俳句会		パバラギの里	パバラギの里	
轍	轍事務局	街		杜の都社		
短歌	岩手県歌人クラブ会報	岩手県歌人クラブ	文学の蔵→ふみくら	一関・文学の蔵会報編集室		

宮城県

詩	宮城県詩人会会報	宮城県詩人会	俳句	荒星	御立場社
	風花	風花の会		花野	花野仙台句会
	ササヤンカの村	ササヤンカ出版局		飛行船	飛行船俳句会
	ひびき	同人ひびきの会	短歌	宮城県歌人協会年報	宮城県歌人協会
	方	方の会		印象	印象短歌会
	霧笛	霧笛の会		砂丘	砂丘短歌会
	ココア共和国	あきは書館		礁	礁短歌会
	白鳥省吾研究会会報	白鳥省吾研究会事務局		雪炎	雪炎短歌会
	とんてんかん	仙台文学館		北炎	北炎社
	白い国の詩	東北電力広報		北杜歌人	北杜歌人の会
	風の靴を穿いて			群山	群山発行所
	風の暦			浜茄子	仙台啄木会
	百葉			麻莉	コスモス短歌会宮城支部
	THROUGH THE WIND			ぬばたま	ぬばたま
	俳句	宮城県俳句協会会報		宮城県俳句協会事務局	東北大短歌
宮城県現代俳句協会 NEWS		宮城県現代俳句協会事務局	波濤みやぎ		
宮城県連句協会会報		宮城県連句協会	個性の杜		
ほそ道		栗原市俳句協会	川柳	宮城野	川柳宮城野社
きたごち		きたごち俳句会		杜人	川柳杜人社
小熊座		小熊座俳句会		弥生	せんりゅう弥生の会
駒草		駒草発行所	随筆	日曜随筆	日曜随筆社
滝		滝発行所	総合誌	路上	路上発行所
俳句饗宴		俳句饗宴社		仙台文学	仙台文学の会
宮城野		鶴宮城支部		みちのく春秋	みちのく春秋編集部
漣		漣発行所		麦笛	麦の会
春蘭		春蘭俳句会			